

2026年3月26日

各位



## 大原学園で特別講義を行いました

2026年3月26日、税理士法人野村会計の副所長 野村孟弘が、学校法人大原学園 大原ビジネス公務員専門学校福井校にて、税務会計科・ビジネスライセンス科の学生を対象に特別講義を行いました。

今回のテーマは「社長の『やりたい』を翻訳する 税理士～経営者の右腕～」。将来のビジネスを担う生徒たちに向けて、税の役割から専門家としてのあり方、AI時代の仕事の定義まで、幅広く解説しました。

講義では、日常に潜む税の視点や、専門家としての倫理観について紹介しました。生徒たちは立ち読みを例にした説明を通じて、複雑な税法やビジネスの仕組みを実感。「税理士は必要な場面でNOと言える存在であるべきで、好かれることが最優先ではない」という言葉とともに、税理士という仕事が単なる計算の代行者ではなく、経営者の意思決定を支える「翻訳家」であることを語りました。

ユーモアを交えた分かりやすい説明で進められ、質疑応答の際には弁護士との専門性の違いや、試験勉強のモチベーション維持の方法について活発な質問が寄せられました。

講義後のアンケートでは、専門的な内容ながら86%もの生徒が「講義内容に興味を持った」と回答しており、非常に理解しやすく充実した講義であったことがうかがえます。現場を知る専門家の言葉は生徒たちの心に響き、多数の肯定的な感想が得られました。

### 《生徒の声より》

勉強のモチベーションが上がった。

税理士の仕事内容や求められるスキルについて、様々な例を交えて説明いただき、イメージすることができた。



私たちはこれからも、教育機関との連携を大切にし、次世代を担う若者たちへ、専門知識の枠を超えた「社会を生き抜く力」を届ける活動を続けてまいります。

以上